

県立病院ではたらく仲間をつなぐ

2022. 11. 21

病院組合ニュース

No.150

愛知県病院事業庁職員組合

〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1

愛知県東大手庁舎内

電話(052)212-8031 FAX(フアックス)0120-930-340

メールアドレス byoin@aichikenshoku.gr.jp

発行責任者 谷口和希

日本母親大会 in 埼玉・群馬

参加レポート
第1弾

現地とオンラインで1万4千人とつながる!

病院組合では、毎年、多数の組合員の方に各種集会等へ参加していただき、その参加レポートを組合員の皆様に報告しています。

今回、「第67回日本母親大会in埼玉・群馬」が現地とオンラインの併用開催と形を変えて開催され(10月15日・16日)、病院組合から3名の組合員が参加しました。

本号はその参加レポート第1弾です。

「女性・子どもの貧困に目を向けて」

日本の子どものうち7人に1人が相対的な貧困状態にあることを知っていますか。これはOECD加盟国の中で最悪の水準です。毎日の衣食住に困っている状態ではありませんが、経済的困窮のため十分な教育を受けにくく地域や社会から孤立しがちな傾向にあります。

このコロナ禍においては生活困窮者支援が深刻な状況になっています。特に、外出自粛や通院制限による影響

で子どもたちを守ってきた支援が届きにくくなり、子どもの正常な

発達の阻害、コロナ離婚・鬱、家庭内暴力・虐待、ヤングケアラーなど、子どもを取り巻く状況が悪化することが懸念され、これまでに以上に大人が子どもに目配りが必要な状況です。

例えば、オンラインのタブレット学習には自宅から出ることなく学習ができるため便利ですが、自宅で子どもの学習をフォローできない大人がいない状況だと、学習の遅れに直結します。新型コロナ感

染症拡大により普及した便利なツールの一つですが、教育格差の拡大にも繋がっているとも言えます。

また、子どもの貧困と表裏一体になっているのは女性の貧困です。母子家庭など大人1人で子どもを育てる世帯の貧困率は48.1%に上っています。20

22年5月に「困難な問題を抱える女性支援法」が成立しました。これは性的な被害、家庭の状況、地域社会との関係性など、複雑で多様な問題を抱える女性を支援するための法律です。新型コロナによって支援を必要とする女性が増えているにもかかわらず、支援につながらないという状態になっており、本法

が成立したことで困っている女性に適切な支援が届くことを願っています。

未来の子どもをより良い環境で育てていくためには、今困っている子どもと女性を積極的に貧困の連鎖から抜け出せるよう関わることが必要です。これはプレコンセプションケアやマルチリトメント予防などに通ずることだと思えます。私たち医療者は患者さん一人一人の困りに耳を傾け、病気だけではなく患者さん・家族の生活を整えられるよう日頃から社会問題にもアンテナを張り続けることが重要です。

(参加者Aさん

小児センター)



「第67回日本母親大会 in 埼玉・群馬」に参加して

新型コロナウイルス

感染症の感染拡大を受けて延期やオンライン開催となっていた「日本母親大会」が3年ぶりに埼玉・群馬の両県で開催されることとなり参加しました。久しぶりの遠出と始めて行く埼玉、群馬にワクワクし、季節は紅葉が始まりかけておりとても楽しみでした。

長旅1日目の埼玉では和光大学名誉教授の竹信三恵子先生による「生き生きと働き続けるために」を聴講しました。コロナ禍の感染拡大で女性の貧困が急加速した背景には日本の男女格差、女性蔑視、公的セーフティーネットの不備があげられます。非正規雇用の7割が女性であること、女

性は家事や育児や介護を無償で引き受ける要

員と見られる傾向にあり女性の職業は軽くて楽、とする偏見がまだまだ日本にはあり社会的保護が整っていないことが問題です。しかし、シフト制で働く女性の6割が休業支援金・給付金を知らない、女性支援NPOの存在を知らないと答えているなど女性の生き方にも問題はあるようです。

2日目は群馬県に入り上越と北陸2本の新幹線が乗り入れる高崎駅から徒歩15分のGメッセ群馬という2020年にオープンしたばかりで1万人規模のコンサートも開かれる大型コンベンションセンターで全体会が行われました。高崎といえば高崎だるまや富岡製糸場が有名で榛名山や榛名湖もあり、昨日より景色を見て楽しむこ

とができました。

記念講演では、法政大学前総長で東京都男女平等参画審議会会長でもある田中優子先生による「自由を生きぬく実践知」を聴講しました。この表題は法政大学の憲章だそうです。すべての人が自由である世界は極めて高い理想であり日々作り出していかなければならず断続の努力が必要でその実践の中から自由をつかんでゆく。自分がそうでない世界に生きていく多くの要求や抑圧がやってくるが反発ばかりしているのではなく耳を傾けながらも自分

はこうしていくんだ、という姿勢が必要でそれは周りとの関係の中で自ら作り出していくものである、といった内容でした。中でも、女性が自由になるということは男性と競争するのではなく社会的自

己肯定感(他社との比較で自分の優れたところを認めるような相対的な自信から来る自己肯定感)から基本的自己肯定感(どのような自分でも受容でき、自己の存在をあるがままに認めかけがえのない存在とする自己肯定感)

を持っていくことが必要でジェンダーを乗り越えて多様性を認め相違を個性として尊重することができるようになる断の努力を続けていきましょうと言われていました。私も日々努力していこうと思いました。

大会が終わり高崎のひもかわうどんが大変おいしくお土産に買って帰りました。高崎から途中軽井沢辺りは紅葉が真っ盛りでたくさん写真に収め初めての茨木・群馬は心に残る思い出となりました。

参加させていただきありがとうございました。(参加者Bさん 精神医療センター)

今年こそ忘年会できると思ったのに...

病院組合は、10月と11月にオンライン交流会の促進補助事業を行いました。実際に利用したから組合員から次のような感想が届いています。

- ・普段はなかなか交流する機会を職場で作ることができなかった。今回、交流するきっかけを作ることができて良かった。
- ・参加者同士で職場では話せないことでも共有でき、楽しい時間を過ごすことができた。

オンライン交流会も、実際に行ってみると好評みたいです。

病院組合ZOOMアカウントを利用したい方は組合本部までお問い合わせください。

こんなことが可能なスペックです。

- ・最大100人まで参加可能。
- ・数人単位が参加する小部屋をいくつも作って、共通する話題で盛り上げられます。
- ・最大24時間利用可能。
- ・ホストになれば、自分のPC画面を参加者と共有することが可能。

それならば！病院組合ZOOMアカウントを使ってオンライン忘年会してみませんか？

